

南北高速道路建設計画（ベンルックーロンタイン間）（ⅠⅠ）【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
（１）供与国名	ベトナム社会主義共和国
（２）案件名	南北高速道路建設計画（ベンルックーロンタイン間）（ⅠⅠ）
（３）目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	ベトナム南北高速道路網の一部であるベンルックーロンタイン間の高速道路（全長約 60 キロメートル）を建設することにより、増加する交通需要への対応、物流の効率化及び交通渋滞の緩和を図り、もってホーチミン市内を含むベトナム南部地域の経済成長促進・国際競争力強化に寄与するもの。 事業内容 ・ 土木工事（高速道路規格の橋梁及び道路の建設） ・ 高度道路交通システム（ITS）機材の設置 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 27 年 3 月 31 日 イ 供与限度額：313.28 億円 ウ 金利：0.1%（コンサルティング・サービスについては 0.01%） エ 償還（据置）期間：40 年（10 年） オ 調達条件：日本タイド
2 事業の評価	
（１）経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、経済成長に伴う交通量の急増から、交通渋滞・事故を招き物流を妨げており、効率性・安全性を備えた競争力のある交通サービスの提供は、ベトナムの経済成長促進に向けた重要課題となっていた。特にホーチミン市内を経由せず各工業団地と港湾を結ぶ本事業は南部の物流の効率化及び渋滞緩和策として最優先区間の一つと位置づけられていた。 現在においても、本事業はホーチミン都市部を囲む高速道路環状 3 号線の一部を成し、ホーチミン近郊に 2026 年頃を目途に開港予定のロンタイン国際空港のア

	クセス道路としての機能も期待されており、社会的ニーズが高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 本事業は J1、J2、J3 の三つの工区に分かれて建設が進められている。J1 工区及び J3 工区については、2017 年 9 月にアプローチ橋で発生したひび割れをきっかけに、2018 年 6 月に工事が中断。本事業実施機関であるベトナム高速道路公社（VEC）による原因究明・設計変更作業が長期化し事業が遅延した。J1 工区は 2023 年 8 月に工事再開、2025 年 8 月末に完工予定。J3 工区は工事費未払いの解決目処が立たないため、2022 年 2 月に施工会社が契約解除を通知し、ベトナム側の自己資金にて現在再入札中。J2 工区については、2017 年 6 月に完工済み。
（２）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初計画通りの効果が見込まれているため、残事業の実施促進のための事業関係者間の調整を継続し続けていく。
３ 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料